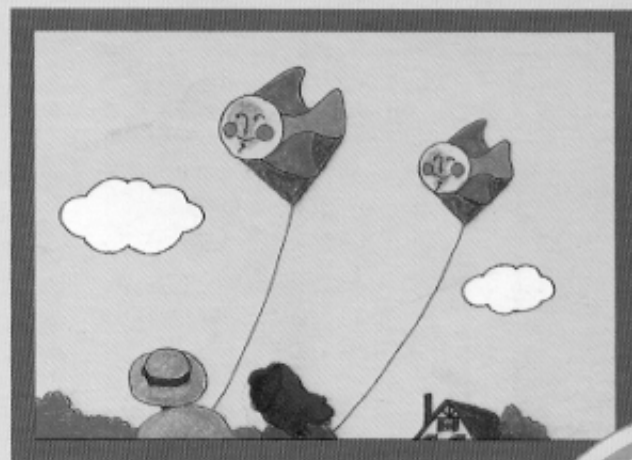
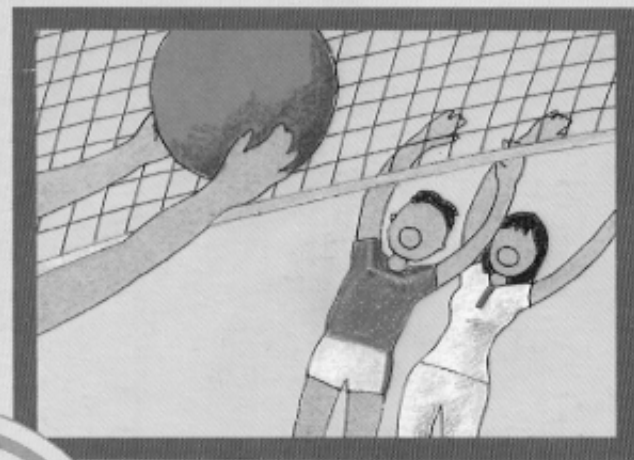
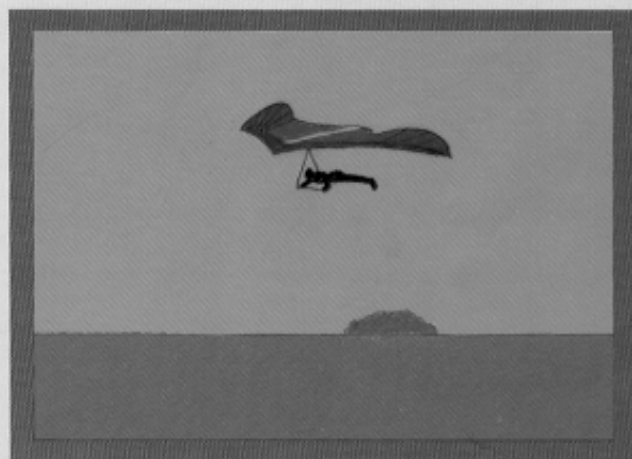
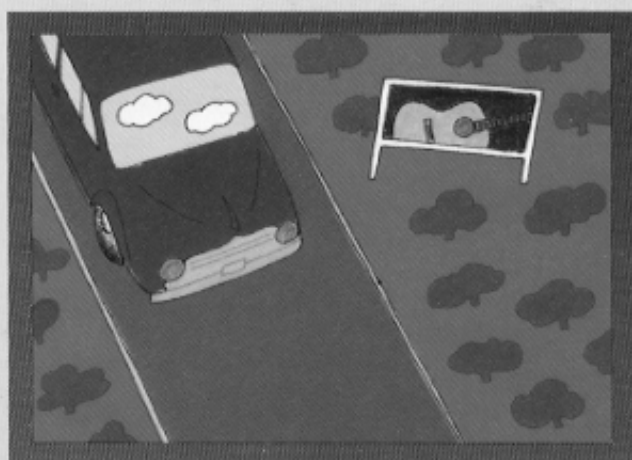
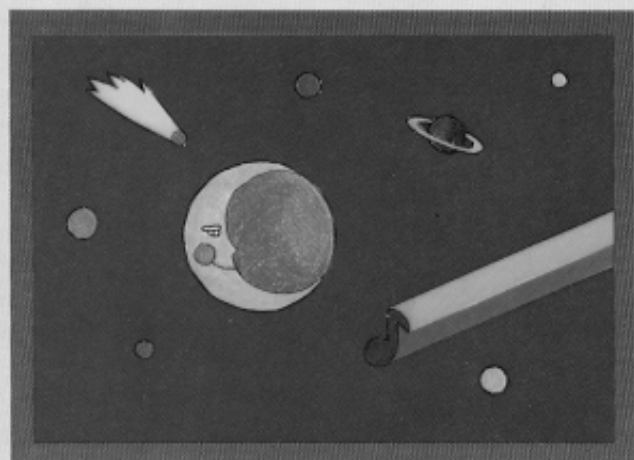


YAMAHA ELECTONE®

D-600

楽しさは正しい理解から



取扱説明書

このたびはヤマハエレクトーンをお買い上げいただきまして、
誠にありがとうございます。

ヤマハエレクトーン D-600 は、多年にわたる楽器づくりの経験と技術に加え、時代の先端をいく電子テクノロジーを採用することにより完成した最新型の高級電子オルガンです。特に、ヤマハが独自に開発したデジタル技術から得られる「生きた音」「豊かな響き」は、どなたにもご満足いただけるものと存じます。

演奏にあたりましては、その多彩な機能を存分にお楽しみいただくため、あらかじめ本書をご一読くださいますようお願いいたします。

目次

●機能説明 PART I / エレクトーンを楽しむために、 これだけはマスターしましょう。——	1
●機能説明 PART II / さらに詳しく知るために。——	20
■さあ、弾いてみましょう——	30
■仕様と音域表——	34
■付属端子と音のエチケットについて——	35
■エレクトーン教室のご案内——	36
■長くお楽しみいただくために——	37
■このような現象は故障ではありません——	38
■サービスと保証について——	40
■エレクトーン豆辞典——	42

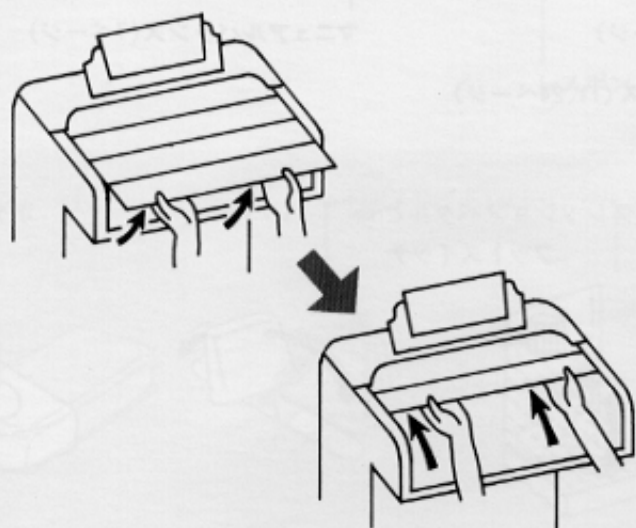
エレクトーンを 楽しむために、 これだけは マスターしましょう。

ここからのページでは、このエレクトーンがもっている多彩な音色をはじめとする、数々の機能を説明していきます。

PART I では、各部の名称、音のだしかたから、各機能の基本的な使いかたまでをまとめています。エレクトーンは初めてというかたは、このPART I を読むだけで、エレクトーン演奏をお楽しみいただけることと思います。また、すでにご存じのかたも、このPART I をご理解いただいた上で、PART II にお進みください。

それでは、本書を譜面台に置き、実際に音をだしながらごらんになってください。

★スライド蓋は、手前を少し持ち上げ、奥にすべらせて開けます。両手でしっかりつかみ、開ける途中で手を離さないでください。



各部の名称と操作方法

1

2～3ページ

まず音をだしてみよう

2

4～5ページ

おんしょく
音色をつくってみよう

3

6～9ページ

音を変化させてみよう

4

10～13ページ

オートリズム

5

14～15ページ

オートベース／コード

6

16～17ページ

オートアルペジオ

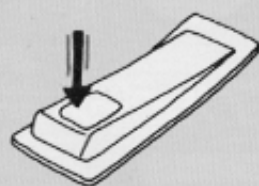
7

18～19ページ

各部の名称と操作方法



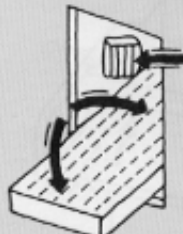
電源スイッチ



つまみ



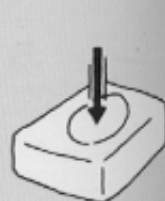
エクスプレッションペダルと
フットスイッチ



レバー



ボタン



- 、22ページ)
- 、21ページ)
- 、22ページ)
- ビブラート(10、24ページ)
- 下鍵盤トーンレバー(7、21ページ)
- プリセットアンサンブル(8、23ページ)
- ペダル鍵盤トーンレバー(7、21ページ)
- オートアルペジオ(18、29ページ)
- マスターボリューム



電源スイッチ

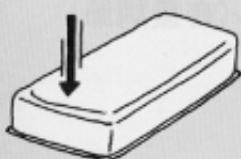
リバーブ(13ページ)

フットスイッチタブレット
(13、25ページ)

サステイン(12、25ページ)

レスポンス(12、25ページ)

タブレット



スライドレバー



マニュアルバランスレバー



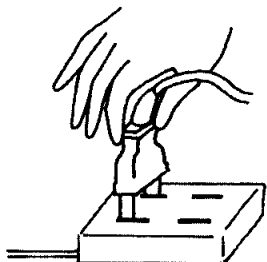
ニーレバー



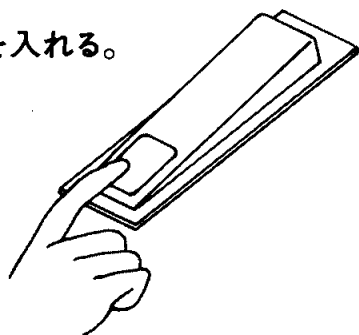
まず音をだしてみましょう



①電源プラグをコンセントに差しこむ。

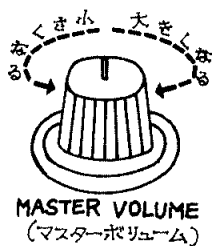


②電源スイッチを入れる。



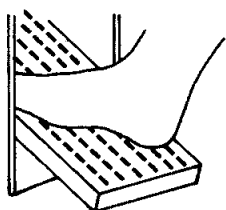
③ボリュームつまみをセットする。

これは全体の音量を調節するつまみです。中央あたりにセットしておきましょう。



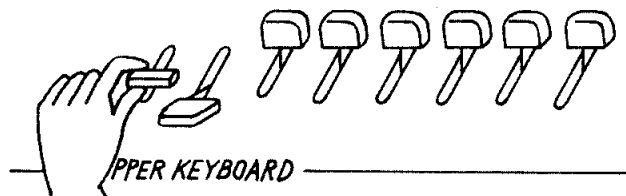
④エクスプレッションペダルを踏みこむ。

これは演奏しながら自由に全体の音量を調節するペダルです。手前にもどっていると音が非常に小さくなります。



⑤トーンレバーを下にさげる。

上鍵盤トーンレバー、下鍵盤トーンレバー、ペダル鍵盤トーンレバーを、それぞれいくつかさげてください。



⑥鍵盤を押さえる。

上鍵盤を右手、下鍵盤を左手で押さえます。ペダル鍵盤は左足で踏んでください。それぞれ音がでたことと思います。



音が大きすぎる場合は。

- エクスプレッションペダルを少しずつもどして音量を調節してください。

音がでなかったり、小さすぎる場合は。

- もう一度①～⑥を確認してください。
- 他のボタンやタブレットが押されていないか確かめてください。
- マニュアルバランスは中央あたりにセットしてください。

音色をつくってみましょう

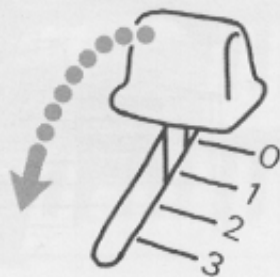


●上鍵盤トーンレバー

レバーをさげるだけで、いろいろな楽器の音が選べます。上鍵盤を弾いて、ひとつひとつの音色を聴きくらべてください。

音量を3段階にセットできます。

音色を選ぶだけでなく、音量の調節もトーンレバーでできます。一番下が最大の音量です。これをクリックストップ式といいます。



何種類でも、自由に組み合わせることができます。

例えば、次のようにセットすると、ジャズオルガンのような音が得られます。

アタック2 3/4'' (2) フルート16'' (3)

フルート8'' (3) フルート5 1/2'' (3)

※()内の数字はクリックストップの位置を示します。

★アップープリセット

上鍵盤トーンレバーの右端にあるコンビネーション1、2は、アップープリセットといいます。これは、単独で使う音色レバーで、他のトーンレバーに優先します。また、クリックストップ式にはなっていないから、レバーが一番下までさげてください。

上鍵盤トーンレバー

アタック4'', 2 3/4''	立ちあがり早く、鍵盤を押さえ続けても途中で消えていく減衰音です。主に他のトーンレバーと組み合わせて使う音色で、歯切れのよい感じの音がつくれます。
フルート16'', 8'', 5 1/2'', 4'', 2 3/4'', 2''	エレクトーンの最も基本的な音色で、いろいろな音づくりの中心になります。音質は柔らかく澄んでいて、6つの音程がちがうレバーがそろっています。
ブラス16'', 8''	明るい金管楽器の音色です。
クラリネット16''	落ちついた丸みのある音色です。
オーボエ8''	細くやわらかい音色が得られます。
ストリング16'', 8'', 4''	弦楽器の音色です。弦楽器特有の豊かでうるおいのある感じが得られます。
ワウブラス	ブラスの音色にワウワウ効果をもたせたもので、他の音色と組み合わせると特殊な効果が得られます。
コンビネーション1	さまざまな音色があらかじめセットされていて、めりはりのきいたジャズトーンが得られます。
コンビネーション2	パイプオルガンのような重厚で、響きわたるようなシアターサウンドが得られます。

※音色名のあとについている数字と記号(例えば8''=8フィート)は、その音色の音程を表わします。(詳しくは21ページ参照。)



ローキーボード(下鍵盤トーンレバー)

ペダルス(ペダル鍵盤トーンレバー)

●下鍵盤トーンレバー

操作方法などは上鍵盤トーンレバーと同じです。

好きなレバーをいくつか下にさげると、選んだ音色を下鍵盤から出すことができます。

下鍵盤トーンレバー	
フルート8'、4'	上鍵盤のフルートと同じ音色で、音程のちがう2つのレバーがあります。
ディアパゾン8'	パイプオルガンを思わせる重厚な音色です。
ホルン8'	ブラスの音色を少し甘くした感じで、クセのない豊かな音です。
チェロ8'、4'	ストリングの音色をやわらかくした感じで、なめらかで自然な音色です。
ワウギター	ギターの音にワウワウ効果をもたせた、おもしろい感じがする音色です。リズムを鳴らしている時はリズムにのってきざまれます。

★マニュアルバランス

上鍵盤のすぐ左にあるマニュアルバランスは、上鍵盤の音量と下鍵盤の音量とのバランスを調節する回転式レバーです。

U.のほうへ回転……上鍵盤の音が大きくなる。

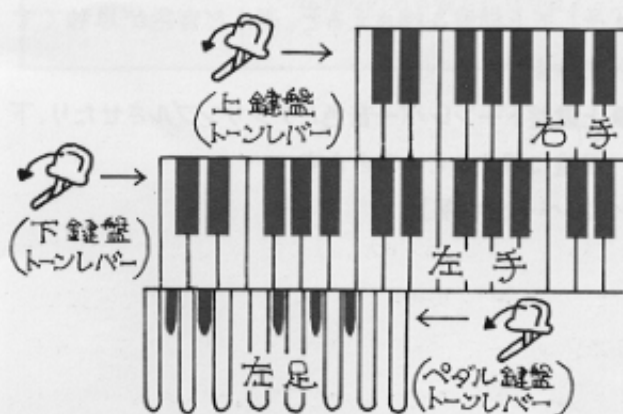
L.のほうへ回転……下鍵盤の音が大きくなる。

●ペダル鍵盤トーンレバー

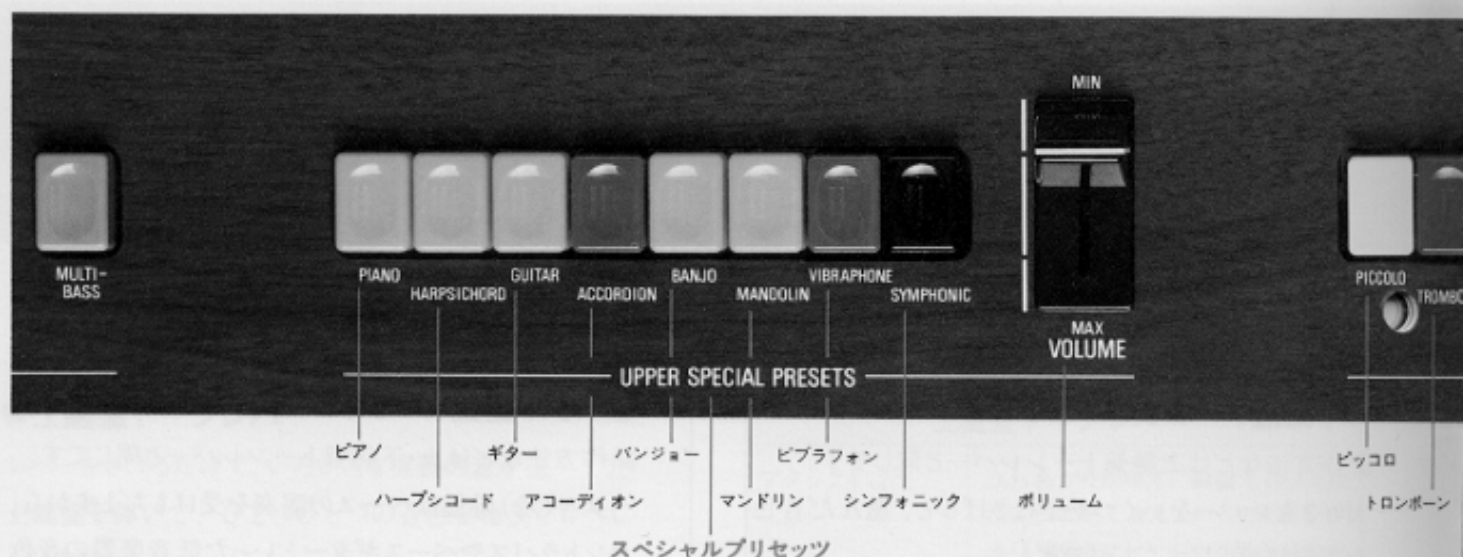
操作方法などは上・下鍵盤トーンレバーと同じです。

ペダル(足)鍵盤はベースの演奏を受けもちますから、コントラバスやベースギターといった低音楽器の音色レバーが用意されています。

ペダル鍵盤トーンレバー	
バス16'、8'	コントラバスの重厚な音色です。特にバス16'は体に感じるような低音の響きが得られます。
チューバ16'	バスにくらべ、奥ゆきとつやが感じられる音色です。
ベースギター8'	ベースギター特有のアタック効果が組みこまれた減衰音です。歯切れのよいベース音を得られます。



音色をつくってみましょう



●スペシャルプリセット

自然楽器のもっている独特の音質や響きが、あらかじめセットされている音色機能です。

①7つのセレクトボタンから、好きな音色をひとつ選んで押します。

②黄色のダブルレットを入れます。

右側にプリセットアンサンプルの5つのタブレットが並んでいます。このうち真中の黄色いタブレットがスペシャルプリセットのスイッチになっています。

③ボリュームのスライドレバーを手前に引きます。

このスライドレバーはスペシャルプリセット専用の音量調節レバーです。

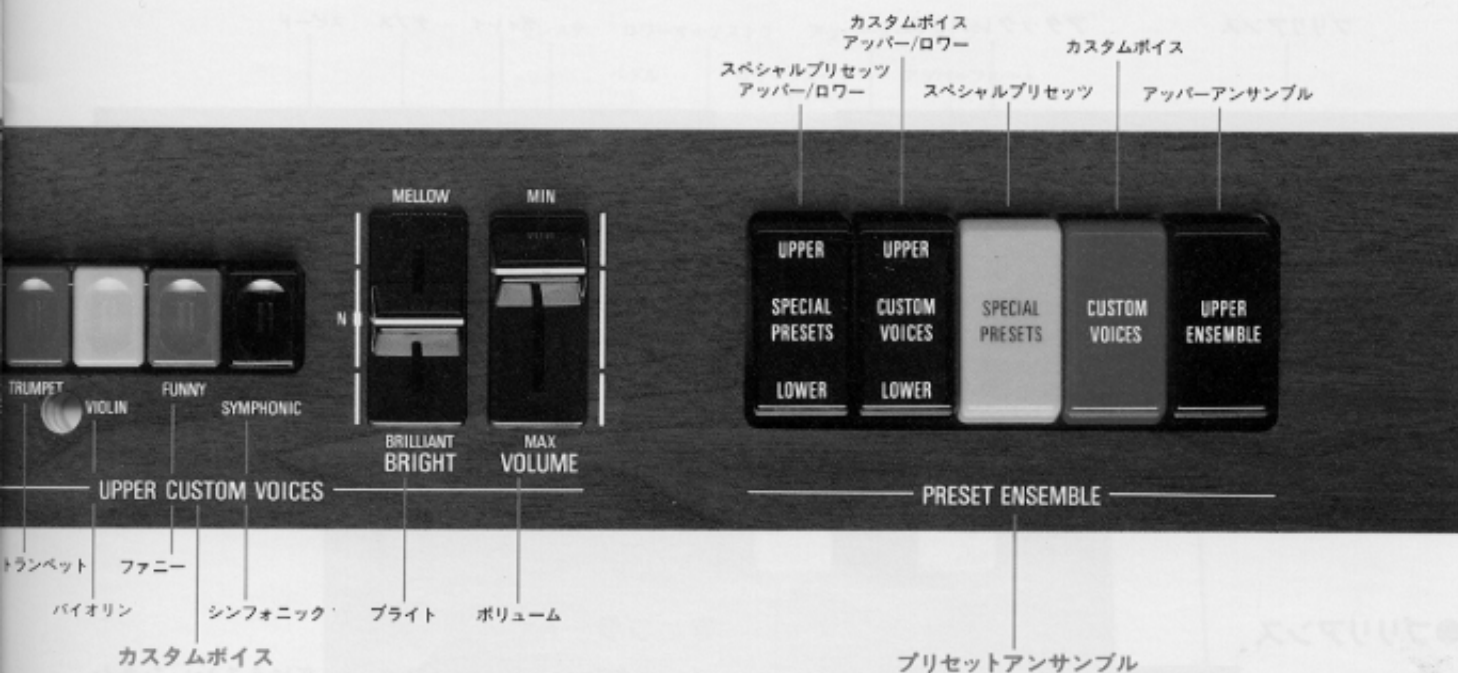
④そして上鍵盤を押さえると、選んだ音色が単独でできます。

●上鍵盤トーンレバー音色とアンサンブルさせたり、下鍵盤に移すこともできます。

(23ページ参照)

スペシャルプリセットの音色

ピアノ	ピアノに近い音質で、音の消えかたも実際のピアノのように、余韻がついた自然な減衰をします。
ハーブシコード	ピアノのもとになった鍵盤楽器のことで、クラシカルで素朴な響きが得られます。
ギター	ギターの音をイメージしてつくったもので、やわらかい感じのする音色です。
アコーディオン	音が微妙に変化し、アコーディオンの素朴な音に近い音色が得られます。
バンジョー	カントリー・ウェスタンに使われるバンジョーの音色で、音がこまかくくり返される断続音です。
マンドリン	マンドリンのトレモロ奏法そのままに、独特の断続音が得られます。
ビブラフォン	共鳴筒のついた鉄琴のことで、透明感のある減衰音に、長い余韻がついています。
シンフォニック	他のセレクトボタンと一緒に使うもので、広がりのある響きになります。(22ページ参照)



●カスタムボイス

カスタムボイスは、音量、音色が時間の経過にしたがって微妙に変化し、より実際の楽器音に近い表現ができます。

①5つのセレクトボタンから、好きな音色をひとつ選んで押します。

②赤のタブレットを入れます。

プリセットアンサンブルの5つのタブレットのうち、右から2番目の赤いタブレットがカスタムボイスのスイッチになっています。

③ボリュームのスライドレバーを手前に引きます。

④そして上鍵盤を押さえると、選んだ音色が単独でできます。

●上鍵盤トーンレバー音色とアンサンブルさせたり、下鍵盤に移すこともできます。

(23ページ参照)

★カスタムボイスは単音で得られます。同時に2つ以上鍵盤を押さえた場合、高音が優先します。

カスタムボイスの音色

ピッコロ	フルートよりひとまわり小さい楽器です。高く明るい音色が得られます。
トロンボーン	丸みのある金管楽器特有の音色です。ゆるやかに響きわたる感じがします。
トランペット	トロンボーンより鋭い感じで、つやがあり、音のとおりがよい音色です。
バイオリン	②弦楽器特有の繊細さとやわらかさを感じさせる音色です。
ファニー	「おもしろい」という意味の言葉で、ワウワウ効果のきいた、シンセサイザー的な音色です。
シンフォニック	他のセレクトボタンと一緒に使うもので、広がりのある響きになります。(22ページ参照)